

酒を勧む（于武陵）

君に勧む 金屈卮

満酌 辞するを 須いず

花発いて 風雨 多し

人生 別離 足る

勸君金屈卮 満酌不須辭
花發多風雨 人生足別離

解説 この詩は酒を勧めて、人生の無常を達観した詩である。

語釈 ※金屈卮＝黄金製の美しい酒杯。 ※満酌＝なみなみと酒杯に注がれた酒。 ※不須＝する必要がない。 ※発＝ひらく。 ※足＝たつぶりあること。

通釈 君に勧める黄金の杯。 なみなみと注がれた酒を差しあげるが、どうぞ遠慮などしたもうな。 花が咲いたら、とかく風雨が吹きつける。 この人生には別離がつきものだ。